

令和4年度北方領土オンラインゼミナール結果概要

9月14日、15日に、全国の大学生、大学院生27名の参加により「令和4年度北方領土オンラインゼミナール」を開催しました。

ゼミナールでは、北方領土語り部の得能宏さん（色丹島出身）により北方四島での生活、ソ連軍の侵攻時における色丹島の状況、過酷な引揚体験などについて講話を行いました。その後、岡部芳彦神戸学院大学経済学部教授の進行により、学生たちは、「自分達にできる『北方領土返還要求運動』は何か」をテーマにディスカッションを行いました。

得能さんは参加学生に対して、「北方領土問題は日本で起こっている現実であり、返還は必ず実現させなくてはならない。一人ひとりの行動が『点』となり、やがてそれが『線』、『面』となり日本全体の問題として世論を押し上げることが重要。そのためには北方領土問題に関心を持ち、しっかり勉強して欲しい」とのメッセージを送りました。

得能さんの講話に触れた学生は、「これまでは北方領土問題を身近に感じていなかったがとても勉強になった」、「ロシアによるウクライナへの侵略で故郷を追われた住民と重なった」との感想が聞かれました。

ディスカッションでは、「当事者意識を持つことが重要である」との意見や、参加学生の専攻分野である教育、情報発信等の視点から、自分達が北方領土返還要求運動をどのように取り組むべきか様々なアイデアが出されました。



色丹島出身の得能さん



オンラインゼミナールに参加した大学生等